

# Fresh Concert ~CMDJ 2024~ ~より豊かな音楽の未来をめざして~



すみだトリフォニーホール 小ホール

2024年4月10日(水)

主催：日本音楽舞踊会議／後援：季刊『音楽の世界』

# 《 プ ロ グ ラ ム 》

## 宮田 唯菜／播馬 琴羽 (2台ピアノ)

インファンテ アンダルシア舞曲 第1曲 「リズムックに」  
M Infante Danses Andalouses I. Ritmo  
ラフマニノフ 2台ピアノのための組曲 第2番 Op. 17～ 1.序奏 4. タランテラ  
S. Rachmaninoff Suite No. 2 Op. 17 1. Introduction 4. Tarantelle

## 夏目 明歩 (ソプラノ)

ピアノ：関水 陽香

ヴェルディ “ひとつの星に”  
G. Verdi “1. Ad una stella”  
ベッリーニ 歌劇《清教徒》より “私は美しい乙女”  
V. Bellini Opera 《I Puritani》 “Son vergin vezzosa”

## 瀧 雅弘 (ピアノ)

ブラームス ピアノ小曲集 Op. 119  
J. Brahms Klavierstücke Op. 119

## 野田 正太 (バリトン)

ピアノ：野田 美保子

中田 喜直 “たあんきぽおんき”  
メンデルスゾーン 『エリア』より “もう十分です”  
F. Mendelssohn from [Elijah] “It is enough”

## 鈴木 麻衣音 (ピアノ)

プロコフィエフ ピアノ・ソナタ第6番 イ長調 作品82より 第1楽章、第4楽章  
S. Prokofiev Piano Sonata No. 6 A-dur Op. 82 I. Allegro moderato IV. Vivace

----- 休憩 -----

## 伊藤 有莉愛／泉波 陽美／金丸 璃奈／新井 琴乃 (サクソフォーン四重奏)

グラスノフ サクソフォーン四重奏曲 作品109より 第1 & 3楽章  
A. Glasunov QUARTETT Op. 109 1-st. or. 3-rd. Mov

## 小市 和音 (ソプラノ)

ピアノ：寺本 佐和子

ウェーバー 歌劇《魔弾の射手》より “どうして眠れるでしょう…静かに、静かに、敬虔な調べ”  
C. M. Weber 《Der Freischütz》 “Wie nahte mir der Schlummer...Leise, leise, fromme Weise”

## 関水 陽香 (ピアノ)

ヴァイン ピアノ・ソナタ第1番 第1楽章  
C. Vine Piano Sonata No. 1 1st movement

## 安藤 広河 (テノール)

ピアノ：西口 優花

モーツァルト 歌劇《魔笛》より “なんと美しい絵姿”  
W. A. Mozart 《Der Die Zauberflöte》 “Dies Bildnis ist bezaubernd schön”  
ドニゼッティ 歌劇《愛の妙薬》より “人知れぬ涙”  
G. Donizetti 《L'elisir d'amore》 “Una furtiva lagrima”

司会：西山 淑子

## 《ごあいさつ》

Fresh Concert CMDJは 2003年に第1回を開催し、昨年4年ぶりに第18回目を開催しました。2019年の第17回までは、東日本大震災など様々な困難を乗り越え毎年休まず開催することができたのですが、世界中に感染を広げた新型コロナの影響は大きく、Fresh Concert CMDJも2020年～2022年の3年間は中止を余儀なくされました。しかし、昨年引き続き今年も開催することが出来、Fresh Concert CMDJも新たな歴史を歩み始めました。

ところでCMDJは日本音楽舞踊会議の英語名(The **C**onference of **M**usic and **D**ance, Japan =CMDJ)の略称で、2006年までCMDと称していましたが、2007年にCMDJに変更され現在に引き継がれています。

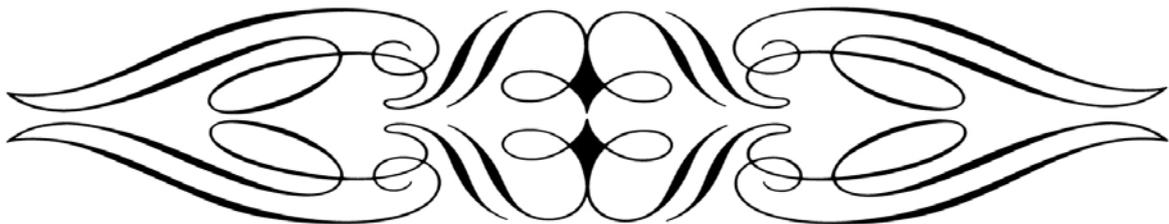
一見豊かそうに見える我が国ですが、現在の我が国の社会、文化環境は、音楽をめざす多くの若者たちにとって、決して恵まれているとは申せません。さらに長引いたコロナ禍がより厳しい状況をつくりだしてしまいました。しかし、そういう状況の中で、若い才能を発掘し、育成につとめることも、創立以来60年を越える歴史を重ねて来た当音楽文化団体(CMDJ)として果たすべき社会的、文化的使命の一つと考え、2003年以来、毎年3月下旬～4月上旬に『Fresh concert CMDJ』を企画し、開催してまいりました。

なお、パソコンたスマホをお持ちの方は、ブラウザで“fresh concert cmdj”のキーワードで検索すると、Fresh Concert CMDJを詳しく紹介したページ、「Fresh Concert について」に辿りつけるとと思います。

通算19回目の開催となる今年は13名の参加者に加え、伴奏者4名を含めると17名の若い音楽家たちがステージを踏みます。今回は、久しぶりに多人数の演奏者によるアンサンブルが加わり、多彩で充実したコンサートが期待できると思います。

どうか、若い音楽家たちが情熱を注ぐ演奏に耳を傾け、温かく励ましてあげてください。聴衆の皆様と共に音楽の喜びを分かち合うことができましたら、出演者およびスタッフ一同にとって、この上ない幸せであります。

日本音楽舞踊会議	代表理事	深沢亮子
	理事長	北川暁子
	公演局長	北條直彦
コンサート実行委員長 中島洋一		



## 《演奏者プロフィール》



宮田唯菜(みやた・ゆいな) / 播馬琴羽(はりま・ことは) 2台ピアノ

(※写真は左：播馬琴羽、右：宮田唯菜)

**【宮田唯菜】** 神奈川県立弥栄高等学校音楽科卒業  
国立音楽大学演奏・創作学科鍵盤楽器専修特別給費奨学生卒業。  
これまでにピアノを北原祐美子、濱尾夕美氏に師事。  
2019年全日本ジュニアクラシック音楽コンクールにて第2位入賞。  
国立音楽大学オーディション選抜者による第111回ソロ・室内楽定期演奏会オーディションに合格。同コンサートに2台ピアノで出演。

**【播馬琴羽】** 神奈川県立弥栄高等学校音楽科卒業。  
国立音楽大学演奏・創作学科鍵盤楽器専修卒業。アンサンブル・ピアノコース修了。現在、国立音楽大学音楽研究科修士課程器楽専攻鍵盤楽器コース(ピアノ)在学中。濱尾夕美氏に師事。第31回日本クラシック音楽コンクール全国大会第5位入賞。韓国・金海国際音楽ピアノアカデミー2023に参加。国立音楽大学オーディション選抜者による第111回ソロ・室内楽定期演奏会オーディションに合格同コンサートに2台ピアノで出演。



夏目 明歩(なつめ・あけほ：ソプラノ)

福島県出身 国立音楽大学演奏・創作学科声楽専修卒業、及びオペラ・ソリスト・コース修了。第46回ジュニアクラシック音楽コンクール声楽部門・高校の部審査員賞受賞。ウィリアム・マッテウツィ声楽特別レッスンを受講。国立音楽大学第112回ソロ・室内楽定期演奏会出演。これまでに声楽を大竹典子、佐藤ひさら、平井香織に師事。現在、同大学院音楽研究科修士課程声楽専攻オペラ・コース在籍。

関水 陽香(せきみず・はるか)：伴奏ピアノ)

第27回PIARAピアノコンクール銅賞。第56回新報音楽コンクール3位。韓国・金海国際音楽フェスティバルピアノアカデミー2023及び2024に参加し、Klaus Hellwig、Mi-Joo Lee、Christian Petersen、奈良希愛の各氏のレッスンを受講。国立音楽大学第112回ソロ・室内楽定期演奏会出演。

これまでにピアノを李種姫、稲積亜紀子、近藤伸子の各氏に、伴奏を奈良希愛、河原忠之、梅本実の各氏に師事。現在、同大学院修士課程器楽専攻伴奏コース在学。



雅弘(たき・まさひろ：ピアノ)

静岡県生まれ。六歳からピアノを始める。ショパン国際ピアノコンクールインアジアやピティナ・ピアノコンペティション、静岡県学生音楽コンクール等の賞歴有り。東京音楽大学付属高校を経て、現在昭和音楽大学在学中。



### 野田 正太(のだ・しょうた：バリトン)

国立音楽大学演奏創作学部卒業。

同大学大学院 歌曲・オラトリオコースに在学中。

37 回学生音楽コンクール高校生の部 銀賞。

声楽を川上勝功、福井敬、羽山晃生などの方々に師事。日本歌曲を専攻し、無理のない発声法や、発音法を研究。

### 野田 美保子(のだ・みほこ：伴奏ピアノ)

武蔵野音楽大学 ピアノ科 卒業。

「のだピアノ教室」を経営



### 鈴木 麻衣音(すずき・まいね：ピアノ)

鳥取県出身。国立音楽大学音楽学部演奏・創作学科鍵盤楽器専修(ピアノ)卒業。並びに鍵盤楽器ソリストコース修了。現在、同大学大学院音楽研究科修士課程器楽専攻(ピアノ)1年に在学中。大学院奨学生に選出される。同大学ゾリステンコンサートにて国立音楽大学オーケストラと共演。2022年国立音楽大学 海老彰子国際マスタークラスを受講。第17回宝塚ベガ学生ピアノコンクール入選。第36回愛知ピアノコンクール B,C 部門金賞、A 部門銀賞。第1回トバイアスマティ記念ピアノコンクール 第2位。

これまでに、竹内京子、熊谷恵美子、梅本実、新納洋介の各氏に師事。



＜サクソフォーン四重奏＞ 左から順に  
伊藤有莉愛、金丸璃奈、新井琴乃、泉波陽美

### ＜サクソフォーン四重奏＞

#### 伊藤 有莉愛(いとう・ゆりあ：Sop-Sax.)

秋田県秋田市出身。ノースアジア大学明桜高等学校卒業。これまでにサクソフォーンを成田徹、田中靖人、門脇侑希の各氏に、室内楽を貝沼拓実、本堂誠、江川良子の各氏に師事。第23回秋田県青少年音楽コンクール管・打楽器部門 高校生の部最優秀賞を受賞。Coco Saxophone Quartet ソプラノサクソフォーン奏者、音大生を中心とした吹奏楽団 Dream Winds Japanに所属。中学校の部活動への指導を行っている。現在、洗足学園音楽大学4年次在学中。

#### 泉波 陽美(せんば・みなみ：Alt-Sax.)

北海道天塩町出身。北星学園女子高等学校音楽科を卒業。これまでにサクソフォーンを平賀真奈美、大和田雅洋の各氏に、室内楽を貝沼拓実、江川良子、本堂

誠の各氏に師事。第37回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール木管楽器部門にて審査員賞を受賞。Coco Saxophone Quartetアルトサクソフォーン奏者。現在、洗足学園音楽大学4年次在学中。

### 金丸 璃奈（かなまる・りな : Ten-Sax.）

香川県三豊市出身。香川県立坂出高等学校音楽科卒業。これまでサクソフォーンを貝沼拓実、有村純親、中村ひかる、天造智子の各氏に、室内楽を貝沼拓実、江川良子、本堂誠の各氏に師事。Coco Saxophone Quartet テナーサクソフォーン奏者、音大生を中心とした吹奏楽団 Dream Winds Japan に所属。現在、洗足学園音楽大学4年次在学中。

### 新井 琴乃（あらい・ことの） : Ten-Sax.）

神奈川県横浜市出身。これまでサクソフォーンを國末貞仁氏に、室内楽を貝沼拓実、田村真寛、本堂誠、江川良子の各氏に、ジャズサクソフォーンを多田誠司氏に師事。Coco saxophone quartet バリトンサクソフォーン奏者、音大生を中心とした吹奏楽団 Dream Winds Japan に所属。昨年11月にトランペット、ピアノとのトリオにてリサイタルを行う。現在、洗足学園音楽大学4年次在学中。



### 小市 和音（こいち・和音「ソプラノ」）

長崎県出身。国立音楽大学演奏・創作学科声楽専修歌曲ソリストコースを特別給費奨学生として卒業。同大学大学院音楽研究科声楽専攻歌曲コース修了（予定）。第107回国立音楽大学ソロ・室内楽演奏会、2021年度国立音楽大学卒業演奏会、第48回長崎県新人演奏会等に出演。2023年度大学院オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」にドラベッラ役として出演。公益財団法人米濱・リンガーハット財団奨学生。

### 寺本 佐和子（てらもと・さわこ） : 伴奏ピアノ）

東京都出身。国立音楽大学附属中学校・高等学校を経て同大学ピアノ科卒業。コレペティートルコースに於いてオペラ伴奏を学び、卒業と同時に声楽伴奏助手として同大学に勤め始める。在学中より NISSAY OPERA2014【ヘンゼルとグレーテル】児童合唱、田尾下哲シアターカンパニー主催【セヴィリアの理髪師の結婚】等において音楽スタッフを務め、共演ピアニストとしても多数出演。日本声楽家協会コレペティートル専科所属



### 関水 陽香（せきみず・はるか : ピアノ）

神奈川県出身。国立音楽大学演奏・創作学科鍵盤楽器専修(ピアノ)卒業、及びアンサンブル・ピアノ・コース修了。

第27回PIARAピアノコンクール銅賞。第56回新報音楽コンクール3位。韓国・金海国際音楽フェスティバルピアノアカデミー 2023及び2024に参加し、Klaus Hellwig、Mi-Joo Lee、Christian Petersen、奈良希愛の各氏のレッスンを受講。国立音楽大学第112回ソロ・室内楽定期演奏会出演。

これまでにピアノを李種姫、稲積亜紀子、近藤伸子の各氏に、伴奏を奈良希愛、河原忠之、梅本実の各氏に師事。現在、同大学院修士課程器楽専攻伴奏コース在学。





### 安藤 広河（あんどう・こうが：テノール）

東京都出身。国立音楽大学 大学院 音楽研究科 修士課程 声楽専攻 歌曲コース修了。声楽を川村敬一、望月哲也の各氏に師事。

第108回ソロ・室内楽定期演奏会、第47回国立音楽大学東京同調会新人演奏会に出演。莊 智世恵氏、塚田 佳男氏、白井光子氏の公開レッスンを受講。

同大学在籍中に抜擢を受け、東京シティオペラ協会公演《コジ・ファン・トゥッテ》にフェランドでオペラデビュー。2022年同じく《ドン・ジョヴァンニ》ドン・オッターヴィオを好演。2023年同じく《カルメン》レメンダードを演じる。その他に《愛の妙薬》ネモリーノ、《イタリアのトルコ人》ドン・ナルチーゾ、《ランメルモールのルチア》ノルマンノ役を演じる。

### 西口 優花（にしぐち・ゆうか：伴奏ピアノ）

埼玉県出身。埼玉県立大宮光陵高校音楽科を卒業。国立音楽大学鍵盤楽器専修3年次に在学中。2023年度、同大学のコレペティコースに合格。

これまでピアノを三上舞、大導寺鍊太郎、河原忠之の各氏に師事。

2022年度の芸術祭では、オペラ研究会にて「愛の妙薬」の伴奏を、春に行われた本公演では第1幕のチェンバロをつとめ、2023年度のコレペティコース修了試験で公演された「ランメルモールのルチア」で合唱で参加するなど、オペラに携わる活動に積極的に参加している。音楽大学声楽伴奏助手。



## 《曲目解説 中島 洋一》

### ①-1 インファンテ アンダルシア舞曲 第1曲「リズムックに」

マヌエル・インファンテ（1883-1958）は、スペイン生まれの作曲家兼ピアニストで、パリで生活しながら、スペイン民族音楽の要素を多く採り入れたスペイン印象主義風の作風で、多くのピアノ作品を残しているが、1921年に作曲されたこの作品は、スペインの民族音楽の要素を生かしながら、華やかな演奏技法を駆使する魅力的な作品として仕上がっており、ピアニストに好まれ演奏される機会も多い。

作品は、3つの楽章で構成されている。今回は第1楽章のみを演奏する。ホ短調 3/4 拍子で生気に満ちたリズムックな主題が奏され、二長調の中間部ではスペイン情緒に溢れた楽想が表れる。そして再び初めの楽想に戻って終わる。

### ① -2 ラフマニノフ 2台ピアノのための組曲 第2番 Op. 17～ 1. 序奏 4. タランテラ

セルゲイ・ラフマニノフ（1873～1943）は、革命で誕生したソビエト政権を嫌い、1917年末にはフランスに亡命し、1919年にアメリカに渡り、そこで生涯を終えている。

2台のピアノのための作品としては他に1891年の習作時代に作曲された「ロシアの主題による狂詩曲」があるが、「2台のピアノのための組曲第2番作品17は」1900-1901年の作で、習作期を脱し、新しい境地を開きはじめてきた青年時代の作品で。

組曲は4曲から成るが、1. 「序奏」は、アラ・マルチャ、ハ長調で、明るく力強い勇壮な行進曲である。4. 「タランテラ」は、プレスト、ハ短調で、4曲の中では特に規模が大きく、ソナタ形式で書かれている。イタリアナポリ地方の急速な舞曲タランテラのスタイルを採り入れながら、主題が自在に展開されていく。

### ②-1 ヴェルディ “ひとつの星に”

ジュゼッペ・ヴェルディ（1813-1901）は19世紀を代表するイタリアオペラの作曲家で、数多くのイタリアオペラの名作を残していることは説明するまでもないが、かなりの数の歌曲作品も残している。

“ひとつの星に”は1845年に作曲された「6つのロマンツァ」の3曲目にあたる歌曲である。

変イ長調アンダンティーノ6/8で始まるこの曲は、悩み多き若者が、宝石のように美しく輝く星に見とれながら、自分たちが犯した過ちを告白する。悩みを告白する段でテンポが速くなるが、星の光に癒やされ、心穏やかに曲を閉じて行く。。

### ③-2 ベッリーニ 歌劇《清教徒》より “私は美しい乙女”

ヴィンチェンツォ・ベッリーニ（1801-1835）は、ロッシーニ、ドニゼッティと共に19世紀前半のイタリアオペラ界を代表する作曲家で、34才の若さで没しているが10作のオペラ作品を残している。彼の作品の中でも『夢遊病の女』、『ノルマ』、『清教徒』の3作は特に評価が高く、現在でもしばしば上演される。『清教徒』は彼の最後の作品で、清教徒革命の指導者クロムウェルの率いる清教徒とステュアート王朝の確執があり、クロムウェルがネーズビーの戦いで勝利し、共和政府を樹立した1645年頃を舞台とした、清教徒の娘エルヴィーラと王家に仕える騎士アルトゥーロとの恋を描いたメロドラマである。

“私は美しい乙女”は、第1幕第3場でエルヴィーラが「私は美しい乙女、四月の百合のように純白の花嫁衣装をまとい、神様の前にすすみましょう」と歌う華麗なポロンネーズ。美しいメロディーだが高度な声楽的技巧を必要とする。そしてこの後状況が一変し、「狂乱の場」へと続く。

### ③ ブラームス ピアノ小曲集 Op. 119

ヨハネス・ブラームス（1833-1897）は、J.S. バッハ、ベートーヴェンと共に、ドイツ音楽における「三大B」と称される巨匠として位置づけられている。

ブラームスは20才になったばかりの頃、自作の「ピアノ・ソナタ第1番」をシューマンの前で演奏しシューマンに賞賛され、音楽雑誌への紹介など彼の手厚い支援を受け、シューマンに師事するようになる。やがて、ブラームスより14才上の師の妻、クララ・シューマンを強く慕うようになる。ブラームスはピアニストとしても活動したが、クララは技量が落ちた晩年の彼のピアニストとしての活動は評価していなかったようだが、彼が晩年書き続けた多くのピアノの小品については「珠玉の作品」と高い評価を下している。

「ピアノ小曲集 Op. 119」は1893年に作曲され、同年出版されている。クララは1896年に没しているが、1893年にはまだ存命だったので、この作品に接していることは間違いなからう。クラ

ラが下した「珠玉の作品」という評価に相応しい作品集であると筆者も感じている。作品は以下の4曲で構成されている。

第1曲「間奏曲」口短調 3/8 アダージェ、第2曲「間奏曲」ホ短調 3/4 アンダンティーノ・ウン・ポコ・アジタート、第3曲「間奏曲」ハ長調 6/8 グラティオーソ・エ・ジョコーソ、第4曲「狂詩曲」変ホ長調 2/4 アレグロ・リソルト の4曲である。第1曲から3曲は、それぞれが特徴をもつ味わい深い楽想で書かれているが、第4曲「狂詩曲」は前3曲とは異なり、終曲らしい堂々とした重厚な和音で力強く始まるが、最後は重々しい変ホ短調で劇的に曲を閉じる。

### ③-1 中田 喜直 “たあんきぼおんき”

中田喜直（1923～2000）は、親しみやすい多くの歌曲、童謡、合唱曲を残している。なお、長らく本会の代表委員をつとめられた故中田一次氏は中田喜直の御兄君である。

“たあんきぼおんき”は1947年に作曲された『六つの子供の歌：山村暮鳥作に 詩』に含まれており、この曲集は、作曲家としての中田喜直の名前を不朽にした最初の作品である。

付点音符を伴った踊りたくなるようなピアノのリズムに乗って「たあんきぼおんき」と歌い出すこの楽しい歌は、終戦直後に作曲されたことを考えると、新しい時代の到来を感じさせるとても新鮮な子供のための歌といえるだろう。

### ③-2 メンデルスゾーン 『エリア』より “もう十分です”

フェーリクス・メンデルスゾーン（1809-1847）は初期ロマン派の作曲家として「ヴァイオリン協奏曲」「フィンガルの洞窟」「無言歌集」劇付随音楽「夏の夜の夢」など多くの作品を残しているが、宗教音楽作品も多く、その中には3曲のオラトリオがある。

オラトリオ「エリア」は彼の晩年の1846年に作曲された作品である。また「エリア」は、メンデルスゾーンの代表作であるだけでなく、オラトリオ作品全体の中でも、ヘンデルの「メサイア」、ハイドンの「天地創造」と並んで最も著名な作品の一つとなっている。

作品は2部に別れ、第1部は序曲+No. 1～No. 20、第2部はNo. 21～No. 42から成っている。

“もう十分です”は第2部No. 26で歌われるバリトンのアリアである。「私はもう十分です。エホバよ、今わが生命を取り給へ」と嬰へ短調で敬虔な祈りをこめて歌うが、次第に魂が昂揚し表現が激しくなる。しかしふたたび魂は落ち着きを取り戻し、敬虔な祈りをこめて歌え終える」

### ⑤ プロコフィエフ ピアノ・ソナタ第6番 イ長調 作品82より 第1楽章、第4楽章

セルゲイ・プロコフィエフ（1891-1953）は、未完の第10番を加えると10曲のピアノソナタを手がけているが、第6番は1940年の作で「戦争ソナタ」と称されている3品のうちの最初の作で、「戦争ソナタ」の中では第7番に次いで演奏機会が多いのではないかと思われる。

「ピアノ・ソナタ第6番 イ長調 Op. 82」は4つの楽章で構成されているが、今回は時間の都合で最初の第1楽章、最後の第4楽章の2楽章を演奏する。

第1楽章はソナタ形式で書かれ、イ長調4/4アレグロ・モデラートで始まる第一主題では、同じ音型が激しく何度も奏される。ポコ・ピュー・モッソで奏される第二主題は調性がハ長調に変わり、第一主題とは著しく対象的な楽想となっている。展開部では様々な要素が混じり合い多様

に展開して行く。この楽章はテンポと強弱の幅が大きく、それは劇的な表現力を発揮する原動力となっているようだ。

第4楽章はロンド形式で書かれているが2/4 ヴィバーチェで書かれた楽想は、16分音符の音型を素材として激しく急速に展開してゆくが、イ短調の調性をもっている。しかし途中に挿入されるアンダンテの楽想ではテンポも大きく変わり、第1楽章の第一主題の素材が顔をだす。第1楽章の素材はその後も顔を出し、曲の最後までつきまとう。第1楽章と第4楽章は音楽的表情は対照的だが、相互に姉妹のような関連性をもつ楽章である。時間制限がらみの中で、この作品の特徴を引きだそうとするなら、この2つの楽章を選択したことは適切だったと思える。

## ⑥ グラズノフ サクソフォーン四重奏曲 作品109 より 第1 & 3 楽章

アレクサンデル・コンスタンティーノヴィチ・グラズノフ（1865-1936）は、ロシア五人組の作曲家たちや、チャイコフスキーの後を継ぐロシアの作曲家で、ロシア音楽を技術的に高いアカデミズムの世界に導いた人物である。しかし、ロシア革命後のソ連を嫌い、革命が起こりソ連が設立された11年後の1828年にウィーンで開かれたシューベルトの没後100周年記念行事に出席することを口実に国外に出て、1936年に没するまで二度とソ連には戻らなかった

「サクソフォーン四重奏曲 作品109」はパリに定住した後の1932年に書かれた晩年の作品である。彼の作曲家としての技量の高さがよく表れた佳作であり、数多く存在するサクソフォーン四重奏曲の中でも演奏機会が特に多い。またこの曲の第二楽章の変奏曲は、単独で演奏されることもあるが、今回は都合により省き、第1、第3楽章のみを演奏する。

第一楽章：変ロ長調：アレグロ 3/4 はソナタ形式で書かれており、展開上重要な役割を担う半音階の導入句を経て、明るく上昇する第1主題が、ソプラノサクソで奏される。やがて二長調で対照的な第2主題が現れる。精緻に構築された展開部を経て、テナーサクソで第1主題が再現し、導入部で使われた半音階的楽句に導かれ、プレストで楽章を閉じる。

第3楽章（終曲）：アレグロ・モデラート 2/4 はロンド風に構成された華やかな楽章である。テナーとバリトンの短い導入句に続きソプラノとアルトにより主題が奏されるが、この主題は曲中変形されて何度も出現する。途中で普段はバスを担当するバリトンが重要な役割を担うなど、四つの楽器がバランス良く自己主張して絡み合い、作者が四重奏の書式を熟知していたことを伺わせる。主題の合間に変化のある楽句が挿入され、最後は次第に加速され盛り上がり曲を閉じる。

## ⑦ ウェーバー 歌劇《魔弾の射手》より “どうして眠れるでしょう…

静かに静かに、敬虔な調べ”

カール・マリア・フォン・ウェーバー（1786-1826）は、ドイツロマン派初期の作曲家、指揮者、ピアニストで、器楽曲『舞踏への勧誘』や、歌劇『魔弾の射手』の作曲家として知られている。特に『魔弾の射手』は、ドイツロマン派オペラの様式を確立し、リヒャルト・ワーグナーへと流れを導いた重要な作品として評価されている。

ところで不思議なことに、ウェーバーの作品は過去においてこのコンサートで採り上げられたことがなく、今回が初めてである。筆者個人は昔、ロンドンのコヴェント・ガーデン歌劇場で、アバトが指揮する『魔弾の射手』を観賞したことがあったが、ウェーバーは1926年にコヴェン

ト・ガーデン歌劇場の依頼で英語版の歌劇「オベロン」を作曲している。しかし、彼は結核のため、同年ロンドンで没している。

“**どうして眠れるでしょう…静かに、静かに、敬虔な調べ**”はこの歌劇の＜第2幕＞第2場でアガーテが歌うレチタティーヴォとアリアである。「あの人を知るまでは眠りも早くきたものを」と歌い始め、敬虔な思いに溢れた全曲中でも重要なアリアを、ホ長調 2/4 で歌う。やがて調性はハ長調に変わるが、再びホ長調に戻り、序曲の第二主題として登場する旋律を力強く歌う。

なお、ウェーバーは序曲においても歌劇全体の展開を予見出来るように、劇中に出現する重要な音素材を組み込んでいる。このような作曲手法は、後継者のワグナーなどにも受け継がれて行く。

## ⑧ ヴァイン ピアノ・ソナタ第1番 第1楽章1

カール・エドワード・ヴァイン（1954～）は、オーストラリアの現代クラシック音楽の作曲家兼ピアニストである。彼は8つ交響曲、12の協奏曲、映画、テレビ、演劇用の音楽、電子音楽、また数多くの室内楽作品を作曲している。

**ピアノ・ソナタ第1番**は1990年の作で、時期的には彼のピアノ作品の中では初期のものに属する。しかし、様々な和声上の工夫、幅広いピアノの音域を自在に飛び跳ねる音の動きなど音楽の作り方は複雑で、演奏者には鋭いセンスと高い技術が要求する作品となっている。

この作品は2つの楽章で構成され、第2楽章には「*Leggiero e Legato*」というマークが付いているが、今回は第1楽章のみを演奏する。

第1楽章は2/4 pp で静かにゆったり開始される。なだらかな旋律を和音がそっと支えるように奏されるが、次第に和音が密度を増し濃厚になり、強度も上げて行く。

拍子が16/12に変わり非常に急速になり、細かい音の粒子が激しく飛びまわる。それを頑強な低音が支える。この部分は変拍子が多く7/16拍子なども表れ、リズム的にも複雑である。再び2/4 テンポプリモとなり、元のテンポに戻るが、単に元の主題が再現するのではなく、上行する音型やグリッサンドが表れ音楽的には新しい変化を生み出しながら、終わりは弱奏でこの楽章を閉じる。

## ⑨-1 モーツァルト 歌劇《魔笛》より “なんと美しい絵姿”

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト（1756～1791）は多くのオペラ作品の傑作を残しているが、その殆どがイタリア語で書かれている。しかし彼の最後のオペラ作品『魔笛』は台本はドイツ語でドイツの伝統的なジングシュピール（歌芝居）様式で作られており、彼の他の作品とは一線を画している。

**歌劇《魔笛》より “なんと美しい絵姿”**は、＜第1幕＞第4場でタミーノが姫の絵姿を見て、まだ見ぬ姫への思いに駆られ情熱的に歌う、変ホ調長2/4拍子 ラルゲットのアリア。6度の上行音型ではじまるテノールの美しい旋律が特徴で、このアリアは「肖像のアリア」とも称されている。

## ⑨-2 ドニゼッティ 歌劇《愛の妙薬》より “人知れぬ涙”

ガエターノ・ドニゼッティドニゼッティは（1797-1848）は、多くのオペラ作品を残している。『愛の妙薬』は、喜歌的な作品だが、同時代の作曲家、ロッシーニの「オペラ・ブッフア」が、軽快で

底抜けに明るいのに対して、美しくロマンチックな旋律が多い牧歌劇になっている。

オペラが一通り出来上がった後、ロマンツァを一曲加えるか否かで台本作家と意見の食い違いが生じたが、作曲家が主張を通して加えたのが“人知れぬ涙”で、このオペラのうちで、単独で歌われる機会が最も多い名曲となった。

純情な若者ネモリーヌが「あの人の目にひそかな涙が浮かんでいる。それはきっと僕を愛しているしるし」と歌うこの曲は、変口短調 6/8 で叙情的な旋律を歌い、最後は同主長調となり、装飾的な動きをともなって終わる。

## 特集 Fresh Concert -CMDJ 2024-出演者に訊く！

Fresh Concert は 2003 年に第 1 回が開催され以来、東日本大震災などの危機を乗り越え 2019 年のまでは、毎年休みなく開催されましたが、2020 年から 2022 年の 3 年間は新型コロナの感染拡大で余儀なくされました。しかし、昨年 4 年振りに再開され、本年も昨年に続き開催することになりました。

1: **今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思を、メッセージに想いをこめて表現してください。**

(※ メッセージの後に、ご自身のサイト（ホームページ、ブログ）などをお持ちの方は、積極的に URL（アドレス）を紹介することを奨めます。  
(もちろん気が進まなければ、掲載しなくともいいです。)

### 《アンケート》

- 2: **あなたが、音楽の道をめざしたキッカケを教えてください。**
- 3: **取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？**
- 4: **物価高など多くの若い音楽家にとって経済的に厳しい状況が続いています。  
そのような状況にあなたはどのように対応示すか？**
- 5: **10年後のあなたはどんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）**
- 6: **音楽以外の趣味や、特に強く興味をもつものがあったら、教えて下さい。**
- 7: **その他（書きたいことをなんでも書いて下さい。書かなくともいいです）**

ところで「出演者に訊く！」シリーズは、第 5 回目の開催年から、開始されました。第 1 回～第 4 回までは座談会を開いてそれを記事にしておりましたが、座談会だと本人の都合で参加出来ない出演者画多かつたため、第 5 回目からは幾つかの質問項目を用意し、その回答を『音楽の世界』に掲載するようにしました。しかし、2015 年 4 月から『月刊：音楽の世界』が季刊に移行したため、2016 年度からは、コンサートのプログラムが掲載されているこの演奏会用パンフレットに、出演者の略歴、楽曲解説と併せて掲載するようになり、今回はアンケート方式を採用してから、15 回目となります。以下が、今年用意したアンケート項目です。

1. はアンケート項目というより、このコンサートに寄せた各出演者のメッセージであり、毎回掲載していますが、さすがに、各自の演奏に対する意気込みが伝わる、力がこもった文が多いようです。

2. ～ 3. は、過去にも何度か取り上げた質問項目です。それぞれの出演者の当面の研究目標が述べられていると思います。

4. は、厳しい社会の現実とどのように立ち向かおうとしているか出演者に問いかけた課題ですが、まだ学生の身分にある人たちの多くは、親や親族、それに学校からの支援も受けられるあめ余裕が感じられますが、本当の厳しさに直面するのは、社会に出てからかもしれません。

しかし中には、将来音楽生活に備えて、準備している人もいます。今の若い人たちは一見甘そうに見えても、見かけ以上にしっかりしているのかもしれない。

5. は 10 年後のあなたはどんな生活を送っていると思いますか？という質問ですが、ここでも浮かれたところはなく、「出来れば 10 年後も音楽を中心とした生活を続けていきたい。」という控えめな回答が多かったようです。「者ならもっと夢があってもよいのでは」お感ずる方もいらっしゃるかもしれませんが、今の若者は現実の厳しさについて目をそらさず見つめているのかもしれない。

6. は専門の音楽以外の趣味などを問う質問ですが、この質問にが気楽に答えられのでしょうか、回答は様々ですが、それぞれの個性が出ていて面白く感じました。

7. については、殆ど書き込みがありませんでしたが、1. ～6. につきましても答えは十人十色といったところだと思います。

それでも、全般に、自分の好きな音楽を大切にしながら、これからの人生に対して前向きに立ち向かって行こうという意欲が感じられ、嬉しく感じました。

それでは、個々の出演者の回答に目をお通しください。

## 宮田 唯菜／播馬 琴羽 (2 台ピアノ)

**1: 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思を、メッセージに想いをこめて表現してください。**

2 台ピアノで演奏会に出演するのは今回で 2 度目で、初めての舞台は大学の学内オーディションか選抜していただき出演した事でした。本日演奏するラフマニノフ 作曲 2 台ピアノのための組曲 第 2 番は多くの時間をかけて 2 人で創り上げてきた作品であり私たちにとっても原点のような作品です。

皆様に演奏を通して私たちの熱い想いを感じていただきたいと思います。

また、インファンテ作曲アンダルシア舞曲は今日の為に新しく取り組んできた作品で宮田と播馬の互いに得意とする部分が相まって作品の良さを引き出していると思います。

高校時代から音楽の道を志しお互い切磋琢磨してきた播馬と共演出来ること、また私たちの演奏を皆様にお届けできる機会をいただき本当に嬉しく思います。(宮田)

今回演奏するラフマニノフ/2 台ピアノのための組曲 第 2 番は、大学内の演奏会オーディションの

ために取り組んだ曲で、この曲がきっかけとなり、お互いの音楽の感性をより理解し、良いところを引き出し合える関係となり、想い入れの強い曲です。インファンテ/アンダルシア舞曲は、この演奏会のために新たに取り組みました。この曲はお互いのパートが交互に似た動きをするのが特徴的で、リズムに演奏する事が得意な私と、歌うような旋律が得意な宮田のお互いの得意な部分を真似し合うことでより良い音楽にしていける、2台ピアノの良い部分が活かされている曲だと感じます。2台ピアノをコンサートで演奏する機会は中々ないので、今回このような機会をいただけてとても嬉しいです。ご来場くださった皆さまに曲の魅力はもちろん、私たちの強い絆を演奏から感じていただけたらと思います。(播馬)

## **2: あなたが、音楽の道をめざしたキッカケを教えてください。**

姉がピアノを習っているのを真似して弾き始めたのがキッカケです。(宮田)

母がピアノ教室をやっていたので、小さな頃から音楽に触れていました。音楽の道に進むと決意したのは中学生の時で、現在師事している瀧尾先生との出会いが大きなキッカケです。(播馬)

## **3: 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？**

ショパンの音楽観にとっても惹かれるので研究したいと思っております。(宮田)

大学院で研究するのはラフマニノフを含むロシア作曲家の作品です。ロシアの作曲家の音楽に魅力を感じていて、ラフマニノフの様にロマン派的な音楽も好きですし、スクリャービン以降の前衛的な作品も好きです。それとは別にリストの技巧的な作品も好きで次に研究したいのはリストです。

(播馬)

## **4: 物価高など多くの若い音楽家にとって経済的に厳しい状況が続いています。**

### **そのような状況にあなたはどのように対応示すか？**

音楽家に対し金銭的な部分で支援される策があると音楽界が更に発展すると思います。(宮田)

コンサートを自主開催しても基本的に黒字になることは少なく、赤字になることが多いです。もう少し、社会的に音楽家の地位が上がることを期待します。コロナ禍では音楽は不必要だといわれ、社会的地位が低いことを目の当たりにしました。音楽は娯楽ですが、それをヨーロッパの様にもっと誰にでも身近なものに、なっていく取り組みが必要だと思います。そのためにストリートピアノは良い例だと思いますが、その活用法をもっと考えていけるといいと思います。(播馬)

## **5: 10年後のあなたはどんな生活を送っていると思いますか？(夢、希望でもいいです。)**

音楽を愛し表現し続けて欲しいです。(宮田)

大学の教授になることが夢なので、まずは大学の講師になってほしいです。そして、変わらず音楽を愛し、音楽と共に生きていてほしいです。(播馬)

## **6: 音楽以外の趣味や、特に強く興味をもつものがあったら、教えて下さい。**

食べる事が好きで美味しいパン屋さんを探すのが得意です。(宮田)

本番おわりのご褒美のクレーンゲーム、アニメを見るのが好きです。(播馬)

## 夏目 明歩（ソプラノ）

### 1: 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思を、メッセージに想いをこめて表現してください。

この度はこのような演奏の機会をいただけた事、大変嬉しく思っております。1曲目に演奏させていただく G. ヴェルディ作曲の“ひとつの星に”は星を「手の届かない憧れ」に例え歌われる曲です。曲調からも星空を連想させるような美しい旋律を力強く表現したいと思います。2曲目に演奏させていただく V. ベッリーニ作曲のオペラ《清教徒》より“私は美しい乙女”は対立関係にあり、結婚を許されていなかった恋人アルトゥーロとの結婚を許されたエルヴィーラが婚礼の衣装を見にまとい、愛する人と結婚できる幸せを歌っています。雰囲気異なる2曲ではありますが、精一杯演奏させていただきます。

### 2: あなたが、音楽の道をめざしたキッカケを教えてください。

小学校3年生から高校までの9年間、合唱部に所属しており、中学校での恩師との出会いからレベルの高い音楽を作る事への楽しさと面白さを知り、音楽に対する興味が強くなり、音楽の道を志しました。また音楽を通して多くの出会いと経験をすることが出来ました。決して楽しい事ばかりではありませんでしたが、そんな厳しさや苦しさも含めて、この道を志して良かったと思います。

### 3: 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

学部から主にベルカントの音楽、特に G. ドニゼッティ、V. ベッリーニを中心に勉強してきました。大学院でも引き続きベルカントの音楽を極めていきたいと思っております。また学部では出来なかったフランス語の音楽にも取り組み、オペラ《ランメルモールのルチア》の狂乱のアリアにも挑戦してみたいです。

### 4: 物価高など多くの若い音楽家にとって経済的に厳しい状況が続いています。

#### そのような状況にあなたはどのように対応示すか？

オペラの公演を見に行くにもチケット等も高く、正直手がつけにくいです。行きたい公演のためにアルバイトをしてお金を貯めたりすることもあります。配信サービスで公開されている映像を夏目見たり、学校の図書館で映像を見る事も出来るため、よく活用させてもらってます。しかし今は学生チケットを用意して下さる所も多く、通常より手軽に入手できるため有り難く思っております。若者が音楽を身近に感じられるよう、様々な工夫をしてくださる所が沢山あり感謝しています。

### 5: 10年後のあなたはどんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）

演奏家として多くの舞台に立ち続けたいです。また留学することも夢なので、海外の舞台で演奏出来たら幸いです。音楽を通して様々な人と関わり、多くの人に音楽の魅力を届けていきたいです。

### 6: 音楽以外の趣味や、特に強く興味をもつものがあったら、教えて下さい。

休日は映画館に行く事が多いです。最近はアニメや漫画も見る事が多くなりました。

## 瀧 雅弘（ピアノ）

**1: 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思を、メッセージに想いをこめて表現してください。**

急遽代演が決まった今回のコンサート出演ですが、演奏場所を与えて下さって感謝致します。今回演奏するブラームス『ピアノ小曲集』作品 119 は、晩年のピアノ作品集『幻想曲集』作品 116、『間奏曲集』作品 117、『ピアノ小曲集』作品 118、『ピアノ小曲集』作品 119 の一番最後に当たる曲集です。晩年の作曲者の気持ちがとても反映されている音楽だと思います。味わい深い音楽を聴衆の皆様と一緒に一音一音しっかりと、ゆっくりと噛み締めます。

第1曲 間奏曲口短調／第2曲 間奏曲ホ短調／第3曲 間奏曲ハ長調／第四曲 狂詩曲変ホ長調

**2: あなたが、音楽の道をめざしたキッカケを教えてください。**

音楽の道を志したきっかけは、昔の素晴らしい音楽家を知って憧れている事と、かつて実家にアップライトピアノがあって、触りながら音楽の演奏の楽しみを知っていきました。

**3: 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？**

鍵盤音楽の全ての時代、様々な国々の曲を知り、たくさん弾いてみたいです。女性作曲家や知られざる作曲家、作品も視野に入れています。音楽だけでも興味の幅が広すぎて困っています。

**4: 物価高など多くの若い音楽家にとって経済的に厳しい状況が続いています。**

**そのような状況にあなたはどのように対応示すか？**

全く分かりません。

**5: 10年後のあなたはどんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）**

慎ましくも演奏活動を続けている事を願っています。

**6: 音楽以外の趣味や、特に強く興味をもつものがあったら、教えて下さい。**

美術鑑賞、宝石収集（アクセサリも含めて）、『蓄音機とレコード』、歌舞伎、能、狂言、バレエ、オペラ、映画、San-x のキャラクターグッズを買う（特にリラックマ）、お昼寝、読書など……骨董品（東西問わず）や服飾史や美容、茶道や建築や文学や哲学、性教育や占いや香道や天体観測も興味あります。国語と歴史（日本史も世界史も両方）の勉強もやり直さないと、と思っています。

**野田 正太（バリトン）**

**1: 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思を、メッセージに想いをこめて表現してください。**

今後の音楽活動への足がかり、とは言わずとも、何らかのプラスにしたい。

**2: あなたが、音楽の道をめざしたキッカケを教えてください。**

高校のコンクール初出場で銀賞をいただいた。

**3: 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？**

修士論文のテーマは日本歌曲だった。日本にいる以上、プロになった暁には、日本歌曲が一番歌う機会が多くなると思われる。

**4: 物価高など多くの若い音楽家にとって経済的に厳しい状況が続いています。**

**そのような状況にあなたはどのように対応示すか？**

副収入。権利所得獲得を目指す。不安なく音楽活動ができるようにしたい。

**5: 10年後のあなたはどんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）**

わからない。しかしながら、歌は辞めたくない。理想は、表現者になりたい。

**6: 音楽以外の趣味や、特に強く興味をもつものがあったら、教えて下さい。**

楽しく学ぶ様なことが好き。とくに、窪田等さんの、名作の読み聞かせは非常に知識も技能も勉強になる。

**鈴木 麻衣音（ピアノ）**

**1: 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思を、メッセージに想いをこめて表現してください。**

この度はこのような素晴らしい演奏会に出演させていただき大変嬉しく思います。今回演奏させていただくプロコフィエフピアノソナタ6番は、私にとってたくさんの思い出が詰まった大切な曲です。長い間この曲を勉強していますが、何度も壁にぶつかり、その都度試行錯誤を繰り返し、自分の理想とする演奏に近づけようと研究してきました。プロコフィエフの音楽は、斬新で、男性的な力強さの中に、ロシア民謡を思わせる哀愁漂う叙情的な表現が散りばめられているのが特徴です。今回の演奏会では、彼の音楽を私なりに解釈し、表現できたらと思っています。

**2: あなたが、音楽の道をめざしたキッカケを教えてください。**

私は1歳半からピアノを始めました。というのも、両親が音楽をやっていたため、生まれる前からすでに音楽とは親密な関係で結ばれていたのです。音楽の道を目指したのは、幼少期からまわりが音楽で溢れていたのも、自然な流れで…といったかたちでしょうか。(笑) きっかけをくれた両親にはとても感謝しています。もちろん音楽の世界がどれだけ厳しいのかは承知ですが、これまでの私の音楽人生を無駄にはしたくないので、これからどんな壁にぶつかろうとも、音楽は続けていきたいと思っています。

**3: 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？**

大学院に入ったら、ロマン派の作品を研究したいと考えています。特に、シューマンの作品を演奏するのはとても難しいという認識があるため、自分の表現の幅を広げるためにも、避けては通れない道だと思っています。ロマン派の作品の理解を深めることで、今私の取り組んでいるプロコフ

イエフの作品の表現にも、より深みが出るのではないのでしょうか。

#### 4: 物価高など多くの若い音楽家にとって経済的に厳しい状況が続いています。

##### そのような状況にあなたはどのように対応示すか？

音楽家にとって一流の方々の演奏を聴くことはとても大切なことだと思っています。このような物価高の状況ですので、最近では、簡単に聴くことができる YouTube やサブスクを活用しています。そしてありがたいことに、国立音楽大学の図書館には豊富な楽譜や資料があるため、学生にとって素晴らしい環境で音楽を学ぶことができます。

#### 5: 10年後のあなたはどんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）

10年後の自分……。全く想像はできませんが、流れに身を任せるのも悪くはないのかなと思います。(笑) これといった目標はありませんが、堂々と自分のことを誇れる、カッコいい人間でありたいです。

#### 6: 音楽以外の趣味や、特に強く興味をもつものがあったら、教えて下さい。

趣味は、韓国ドラマを見ながら韓国語を勉強することです。日本語と似ている単語がたくさんあるので面白いです。

### 伊藤 有莉愛／泉波 陽美／金丸 璃奈／新井 琴乃（サクソフォン四重奏）

#### 1: 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いを、メッセージに想いをこめて表現してください。

今回、このような場で演奏できることを大変嬉しく思っています。演奏曲として選んだグラズノフの四重奏曲は、ブレスの位置が非常に少ない根気のいる体力勝負の曲です。グラズノフ作品特有の雰囲気やふんだんに盛り込まれた魅力的な曲なので、最後まで心を込めて演奏いたします。(伊藤) サクソフォンのための重要な室内楽曲の一つとなっています。楽章ごとにまた違った雰囲気があり、それを多彩な表現で私達らしいグラズノフのサクソフォン四重奏曲をお届け出来るよう演奏します。(泉波)

まずはこのような演奏会の機会を頂きましたことに感謝いたします。

今回演奏させていただく《A. グラズノフ/サクソフォン四重奏曲 作品109より 第1&3楽章》は、美しい縦の和声と、横のフレーズの完成度が他のサクソフォンアンサンブル作品と比べても群を抜いて素晴らしい曲だと個人的に思います。

私の恩師が、「この曲は長年共に演奏してきた人たちにしかできない。」と仰っていて、確かにアンサンブルにおいて難しい点が多いと感じています。だからこそ、大学一年の頃からずっと仲の良い仲間と演奏したかった曲ですし、穏やかな作風と私たちの雰囲気が合っていることが選曲の決定打になりました。今までの学生生活で学んできたことを、発揮できればと思います。(金丸)

今回は時間の都合で1,3楽章だけですが、3楽章の中に2楽章のカンツォーネヴァリエのモチーフも多く出てきていたり、30分近い作品ですが緻密に作りこまれていて、演奏すればするほど良さがわかっていく作品ではないかなと思っています。そんな美しい四重奏をみなさんにお届けできればと思っています。(新井)

## 2: あなたが、音楽の道をめざしたキッカケを教えてください。

物心ついた時に父親が高校生だった時の吹奏楽部のビデオを何度も見ていました。ビデオの使い方をマスターするほどに夢中でした。それから小学3年生の時、先生に説得し、本来4年生からしか入れない吹奏楽部に入部してからは、ずっとサクスを演奏し続けています。(伊藤)

小さい頃からピアノを、中学からはサクソフォーンを始めましたが沢山のプロの方々を演奏を聴き、自分も魅力ある演奏をしたいと思いさらに深く学びたかったからです。(泉波)

中学生で吹奏楽部に入っていたことがきっかけです。私の地元には音楽科がある高校が2つあって、中学時代の顧問が進めてくれたことが私の人生を左右するくらいの出来事でした。(金丸)

たくさんの人に自分の演奏を褒めてもらえて嬉しかったことと、サクスという楽器をもっと使いこなしたいと思ったことがきっかけだと思います。(新井)

## 3: 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

今まで現代曲（もしくはそれに近い作風）に触れる機会がなかったので、取り組んでみたいと考えています。(伊藤) フルートやヴァイオリンの曲に取り組んでみたいです。(泉波)

今一番取り組みたい作品は、《P. ヒンデミット/ヴィオラソナタ 作品 11-4》です。特に一楽章が大好きで、心が浄化されます。(金丸)

最近ではジャズや民族音楽に興味があります。(新井)

## 4: 物価高など多くの若い音楽家にとって経済的に厳しい状況が続いています。

### そのような状況にあなたはどのように対応示すか？

そのため目の前のことばかりになるのではなく、先回りをして行動していくことがこれからの活動のカギになると考えています。(伊藤)

自分ではどうしても出来ないことはありますが、どんな困難があってもしっかり自分を持つことが大切だと思います。一つ一つのことに誠実に取り組み、支えて下さる全ての人に感謝をしながら全力で演奏していきたいです。(泉波)

物価高は本当に毎日思うくらい苦しんでいます。きっとどの演奏家の方(若手の方は特に)も二足のわらじで生活されていることだと思います。私もそのような生活を送るだろうと考えています。(金丸)

苦手ですが、節約と貯金を頑張っていき、自分の演奏の価値を少しずつでも知って貰って貰えないのかなと思っています。(新井)

## 5: 10年後のあなたはどんな生活を送っていると思いますか？(夢、希望でもいいです。)

夢として、音楽を通して素敵な出会いがたくさんあれば良いなと思います。たくさんの人に囲まれたステージで演奏することももちろんそうですが、訪問演奏などを通して少しでも多くの人と音楽での交流ができれば良いなと考えています。(伊藤)

どんな形でも音楽のことに関わっていると思っています。(泉波)

今よりもっと自分に自信がついているはず…！だと思いたいので、指導ができる立場につけたらいいなと思います。一番強く望んでいるのは、今回のこのメンバーでアンサンブルを続けていたら

いいな…ということです。(金丸)

どのような形であれ、10年後も楽器を吹いていると思います。(新井)

#### **6: 音楽以外の趣味や、特に強く興味をもつものがあったら、教えて下さい。**

レジン、羊毛フェルトなどの手芸が好きで、イメージしたものを1から作ることが好きです。これは音楽にも通ずるところがあると思います。ゲームも好きで、特にゲーム音楽は昔から大好きな音楽のひとつです。(伊藤)

スイーツ巡り、バドミントン、猫と戯れる(泉波)

ここ最近ではネコカフェに行くことが多くなりました。元々犬派だったのですが、傾きそうです…美術館に行くことも好きです。音楽と芸術は密接に関係していることが、なんとなく分かる気がします。(金丸)

和菓子、中でもねりきりといちご大福が大好きです。(新井)

#### **7: その他(書きたいことをなんでも書いて下さい。書かなくともいいです)**

今回の演奏会の中では私たちが異色だと思いますので、皆様に楽しんでいただける演奏ができれば幸いです。(金丸)

### **小市 和音(ソプラノ)**

#### **1: 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思を、メッセージに想いをこめて表現してください。**

今回はこのような演奏会の機会をいただき、心から感謝申し上げるとともに、大変嬉しく思っております。私が今回演奏する曲は、ドイツの後期ロマン派の作曲家であるウェーバーが作曲したオペラ「魔弾の射手」の第2幕 アガーテのアリアです。アガーテの恋人であるマックスは、結婚をかけた射撃大会を目前に控えています。そんな中、先祖の肖像画が落ちたことで不吉な予感を感じたアガーテが歌う、祈りのアリアです。滑らかで美しいだけでなく、体の内から湧き出てくるパワーを感じられるような、4月という新たな節目にふさわしい爽やかな演奏を目指したいと思います！

#### **2: あなたが、音楽の道をめざしたキッカケを教えてください。**

私は4歳からピアノを習い始めました。また、音大出身である母親に勧められ声楽を学び始めました。中学卒業までは、ピアノと声楽を両立しながら学んでいましたが、声楽は人の心に届く演奏ができると感じ、声楽の道を選びました。また、日常生活の中では表現できない繊細な感情が、音楽の中になると表現できるというところにとっても惹かれたので、音楽の道を目指そうと思いました。

#### **3: 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？**

私は大学院でレスピーギの歌曲について研究していたので、これからもイタリア歌曲について勉強していきたいと思っています。また、ヴェルディ作曲のオペラ「椿姫」は私が一番好きなオペラなので、いつか全幕演じ歌う日が来るといいなと思っています。

**4: 物価高など多くの若い音楽家にとって経済的に厳しい状況が続いています。**

**そのような状況にあなたはどのように対応示すか？**

常に音楽を自分の最優先事項に置き、物事を考え実行していくことが必要だと考えます。経済的に苦しくなったとしても勉強を止めることはせず、常に音楽を貪欲に求め続けなければならないと思います。

**5: 10年後のあなたはどんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）**

どのような形であっても音楽に関わっていると思います。ヨーロッパ圏で音楽を勉強して、心から尊敬できるいろんな仲間と出会えるような人生を送っていたら幸せです。いつでも自分の音楽には真摯に向き合っていたいです。

**6: 音楽以外の趣味や、特に強く興味をもつものがあったら、教えて下さい。**

とにかく食べるのが好きです。大抵のものは「美味しい！」と感動しながら食べるができます。

**関水 陽香（ピアノ）**

**1: 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思を、メッセージに想いをこめて表現してください。**

この度は、このような素敵な演奏会に出演させていただけることを大変嬉しく思っております。今回演奏させていただく曲は、1990年にシドニー・ダンス・カンパニーのために作られました。第一音目はピアノの最低音群 A, C, E, G, H で「depress silently」と指示があり、「無音」を奏でなければなりません。その後の F, B, Es と Fis, H, E の半音ずれた不協和な 6 音は、第二楽章のコーダに再び登場する非常に大切な和音です。また、中盤で何度も出てくるリズムカルなフレーズも、第二楽章に引き継がれています。このソナタには、一見不思議で奇想天外に思える音達に関連性や共通点が沢山散りばめられています。私は、これは人生においても同じことが言えることではないかと思うのです。自分がどれほど多くの人のおかげでピアノと繋がっていたか、その感謝を込めて精一杯演奏させていただきます。

**2: あなたが、音楽の道をめざしたキッカケを教えてください。**

高校 2 年生の夏頃に、大学の体験レッスンに行ったことがきっかけです。つまずいてもいいから、自分自身と向き合ってみようと思えました。

**3: 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？**

大学院の伴奏科では、近現代のドイツリートの研究をしたいと思っています。また、「優れた伴奏者は優れたソリストでもある」と先輩から伺ったので、ソロとの二刀流も目指して精進したいです。

**4: 物価高など多くの若い音楽家にとって経済的に厳しい状況が続いています。**

### そのような状況にあなたはどのように対応示すか？

楽譜や CD は、大学の図書館で借りています。アンサンブルの合わせも、スタジオを借りるのではなく大学の練習室で行うことが多いです。

### 5: 10年後のあなたはどんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）

このようなご時世なので、大切な人達とともに生きていたらとても嬉しいです。

### 6: 音楽以外の趣味や、特に強く興味をもつものがあったら、教えて下さい。

犬が大好きで、犬グッズがあるとつい買ってしまいます。家にトイプードルがいるのですが、それを知っている友人がトイプードル型のルームウェアやスリッパ、私にだけでなく犬用のおやつまでプレゼントしてくれました。愛犬と一緒に遊んだり散歩に行くことも気分転換になるので、毎日支えてもらっています。

## 安藤 広河(テノール)

### 1: 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思を、メッセージに想いをこめて表現してください。

この度はこのような素敵な演奏会に出演させて頂けること大変嬉しく思います。それと同時にこのような素晴らしい機会を下さり、心より感謝申し上げます。1曲目は、オペラ《魔笛》のタミーノの aria “なんと美しい絵姿”です。私はこれまでフェランド、オッターヴィオ、ネモリーノ、ナルチーゾ、ノルマンノ、レメンダードと縁が様々な役をやらせて頂きましたが、まだドイツの作品に触れたことがなく、数ある中でもタミーノはいつかはやりたいと憧れを抱いている役です。そんな役の aria を歌わせて頂きます。2曲目は、オペラ《愛の妙薬》のネモリーノの aria “人知れぬ涙”です。この aria は、自分の中で大切な試験であったり、コンサートなど多くの本番で歌った曲です。そして、ネモリーノは、2023 年度に約半年という時間をかけて全幕じっくりと向き合った役です。何度やっても難しいと感じる aria ですが、私はこの曲が大好きです。皆様と素敵な時間を過ごせる様、今の私が出来る事を全力でやらせて頂きます。

### 2: あなたが、音楽の道をめざしたキッカケを教えてください。

姉が小学生の時に地元の合唱団に入っており、その影響で私も合唱を始めました。そして、高校2年生の時に歌がより上手になりたいと思い声楽をなら始め、お世話になった先生からオペラをやっており合唱で参加し、魅了され本格的に、音楽の道を目指す様になりました。

### 3: 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

オペラ作品なら《魔笛》《皇帝ティートの慈悲》《リタ》《ロメオとジュリエット》《マノン》《椿姫》など。宗教作品ならバッハの作品には取り組んでみたいです。歌曲は、満遍なくイタリア語、ドイツ語、フランス語、英語、日本語、スペイン語様々な言語の作品に取り組みたいです。

### 4: 物価高など多くの若い音楽家にとって経済的に厳しい状況が続いています。

**そのような状況にあなたはどのように対応示すか？**

私自身何が正解か分かりませんが、とにかく厳しい状況であっても音楽を絶やしてはいけないと思っています。そのため、私はどんな舞台でも積極的に参加したり、自主企画などで演奏する場を作り活動を根気よく続けていきます。

**5: 10年後のあなたはどんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）**

現在、2つの音楽教室で講師をやっており、そして聖歌隊、クラシックバーの演奏者として仕事をしつつ、演奏活動しております。10年後は、自分で教室を開き、合唱団を持ちながら私自身も音楽家として演奏活動をしている、そんな生活を送りたいです。

**6: 音楽以外の趣味や、特に強く興味をもつものがあったら、教えてください。**

現在、有難いことに様々な本番であったり仕事などで忙しくさせて頂いていますが、もともとゆったり過ごすことが好きです。なので、趣味をしいていうなら散歩ですかね。特に夜、星空を見ながら何も考えずに歩いている時間は幸せです！



## 日本音楽舞踊会議 (The Conference of Music and Dance, Japan 〈CMDJ〉) からのお知らせ

### ◆会員へのお誘い

本会是一个の専門だけではなく、声乐、器乐、作曲、研究、评论、教育、轻音乐、舞蹈、などさまざまなジャンルの専門家て构成される団体です。機関誌として、この「音楽の世界」を発行し、演奏会、ゼミナール、研究会などを開催するほか、会報、メールマガジン、ホームページの発行や、会員同士の交流、情報交換などもあり、さまざまなジャンルの人との交流が出来るのはこの団体の特徴です。

正会員の会費は年額 22,000 円、準会員の会費は年額 15,000 円です。他に 30 歳未満の方を対象とした青年会員 (年額 11,000 円) という特典制度があります。青年会員は役員の被選挙権を有さない以外は、正会員と同等の権利を有します。

### ◆賛助会員へのおさそい

本会の活動に協賛し、ご支援下さる方々を対象とした制度です。所定の年会費を納めて頂くほか、どのような資格制限も無く拘束もありません。どなたでもお申し込み頂けます。本誌「音楽の世界」を毎号お送りする他、本会が主催する演奏会などの事業に会員同様無料または会員割引料金で入場できます。

年会費は1口10,000円で、1口以上からお申し込みになれます。

### ◆会友制度について

会友には研究員と維持会友があります。

- ・研究員は本会を足場に、研究、音楽活動をして行く方々のための制度で、本会において研究員としての活動を認められた方々は、会の主催行事 (コンサート、研究会など) について、会員に準ずる条件で参加する権利を有します。協力費として年額 5000 円の会友費が義務つけられますが、本会機関誌「季刊；音楽の世界」を毎号お送り致します。

- ・維持会友は本誌や本会の活動に関心をお持ちの方は申し込みいただければ、どなたでも資格を得ることが出来ます。協力費として年額 5000 円の会友費が義務つけられますが、「季刊：音楽の世界」を毎号お送り致します。

### ★機関誌『季刊：音楽の世界』定期購読について

『季刊：音楽の世界』は、年4回発刊されておりますが、年間購読費3,200円で、定期購読が出来ます。定期購読者には毎号郵送で、『音楽の世界』をお送りします。

以上の記載事項について、詳しくは本会事務所 (電話 03-3369-7496) へお問い合わせください。

日本音楽舞踊会議 (TEL/Fax03-3369-7496) ・

e-mail: info@cmdj1962.net